

---

# はちみつミルクティー

はち子

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

はちみつミルクティー

### 【Zコード】

Z6923D

### 【作者名】

はち子

### 【あらすじ】

大学行ってバイトして…家に帰つたら寝るだけ。そんな日常に退屈していた俺の前に、突然彼女が現れた。

## ○1：偶然（前書き）

更新は不定期です。そして拙い文...とゆうか説明的な文ですが、もし良ければ読んであげてください。

○ 1 : 偶然

雨が降ると無性に飲みたくなる

そしていつも…つい二人分入れてしまふ

手をつける人は隣にいない

もう一年になる

あの日から

\* . . . \* . . . \* . . . \* . . . \* . . . \* . . . \* . . . \* . . .

# 偶然

『お疲れ様です。』

「あ、お疲れ……であります。」バイトが終わると、たいていの奴はおしゃべりなどしてだらだらと残る。

俺はとこうとすぐ戻ってしまいます。

別に理由はないけど、なんとなくなつたと帰りたいんだよな。

アパートまでは徒歩10分。

大通りから小道に入つて角を2回曲がる。

某レンタルビデオ店でバイトを始めたもう一年近くになる。

大学の講義に出て、一週に二回シフト入れて、帰る時間…帰る道まで  
…代わり映えしない毎日…

なんだか少し鬱陶しさを…そして虚しさを感じていた。

上目がちに空を見ると、少し欠けた月がそこにいた。

『何やつてんのかな？俺…』

まるで月に問い合わせるようにポツリと呟いた。

白い息は解放されたかと思うと、たちまち闇の中に溶けていった。

”馬鹿馬鹿しい” フツと自分をせせら笑い、  
一つめの角を曲がりうとした時だった

ズンツ…！

「わつ…」『あやあつ…』

出会いに頭に勢いよく誰かとぶつかってしまった…

ジャラジャラと何かが散らばる音と共に、一人はそれぞれ来た方向に尻餅を着いた。

声からすると女性のようだが…

『すいません。…あの大丈夫ですか?』

彼女はうーんと小さく唸り、腰をさすった。

そして散らばった荷物を見るや否や慌ててかき集めだした。

俺はぶつかってしまった手前、手伝おうと少し離れた所に投げ出されたケータイを拾った。

『これ…』触らないでっ…!』

頼りない街灯の薄明かりで、初めて彼女の顔を見た。

息が荒く、肩で呼吸している。少し茶色がかつた長い髪が連動して揺れていた。

こちらを見据える眼光は、ぞつとするほど美しかった。

いろいろな意味で呆気に取られている俺の顔を見て、ハツと我に帰つた彼女は

『「ハハハめんなさい……』』

とだけ残して俺が今来た方に走つていき、やがて見えなくなつた。

『あ、ケータイ……』

彼女は俺を睨むまではよかつたが、その後にかつぱらうのを忘れていた。

実際俺も忘れていた。なんてつたつて凄まれたわけだし？

つて何言い訳してんだろ。

突然のことでの「何が何だかわからない…」。これからどうすればいいだろうかとケータイ片手に困惑する一方、

いつもと違った帰り道に少し喜びを感じている俺がいた。

そつとケータイを開くと

愛犬、だろうか、茶色い毛の愛らしいトイプードルが、うるうるした瞳でこちらを見つめて来た。

気付けば俺はさつきとは違つ笑みを浮かべていた。

時刻は0時22分

冷たい冬の始まりが俺の頬を撫でた。

## ○1：偶然（後書き）

最後まで読んでくださったんですね。ありがとうございます。『俺』と『彼女』の名前やらは次回です。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6923d/>

---

はちみつミルクティー ° :

2010年10月17日06時19分発行